

# 夜間学校 ニュース

1990年 3月 2日

西成区萩之茶屋2-8-9

旅路の里気付

釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中国人の

指紋押なつ拒否断固支持!

定住外国人に市民権を!

## 天王寺公園

無料が

あたりまえ

知恵 何とかの 三人よれば

みんなで つくろう

みんなの 会館

毎週金曜日

夜七時より

市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

釜ヶ崎の春闘はいまや盛りとわけてだが、夜間学校は、このところ天王寺公園が有料となったことに、こだわり続けている。アブシ支給時間に、有料撤回の署名協力を呼びかけ、他から集った署名と合わせ、九千六百余名分を、大阪へ提出して有料の撤回

を二月二〇日に申し入れたことは、先週の夜間学校ニュースで報告した。天王寺公園は、二月二四日に開園したが、その日の有料撤回要求行動に付いては、裏面の新聞記事を読んでもらいたい。若干、予定とちがってズマートに欠けるところも

あつたが、一応、目的の一部を獲得した行動だったと思ふ。別のゲートでは、同じ時間に釜の仲間達が数人、つれしらは今までタダで歩いてたんや、なんで金とるんやと抗議行動をおこなっていた、という話を聞いた。有料の規定はあるけれど、タダで入るのがあたりまえ、というところまで、多くの人を説得すれば、糸をかせなくとも、目的を達したことになる。

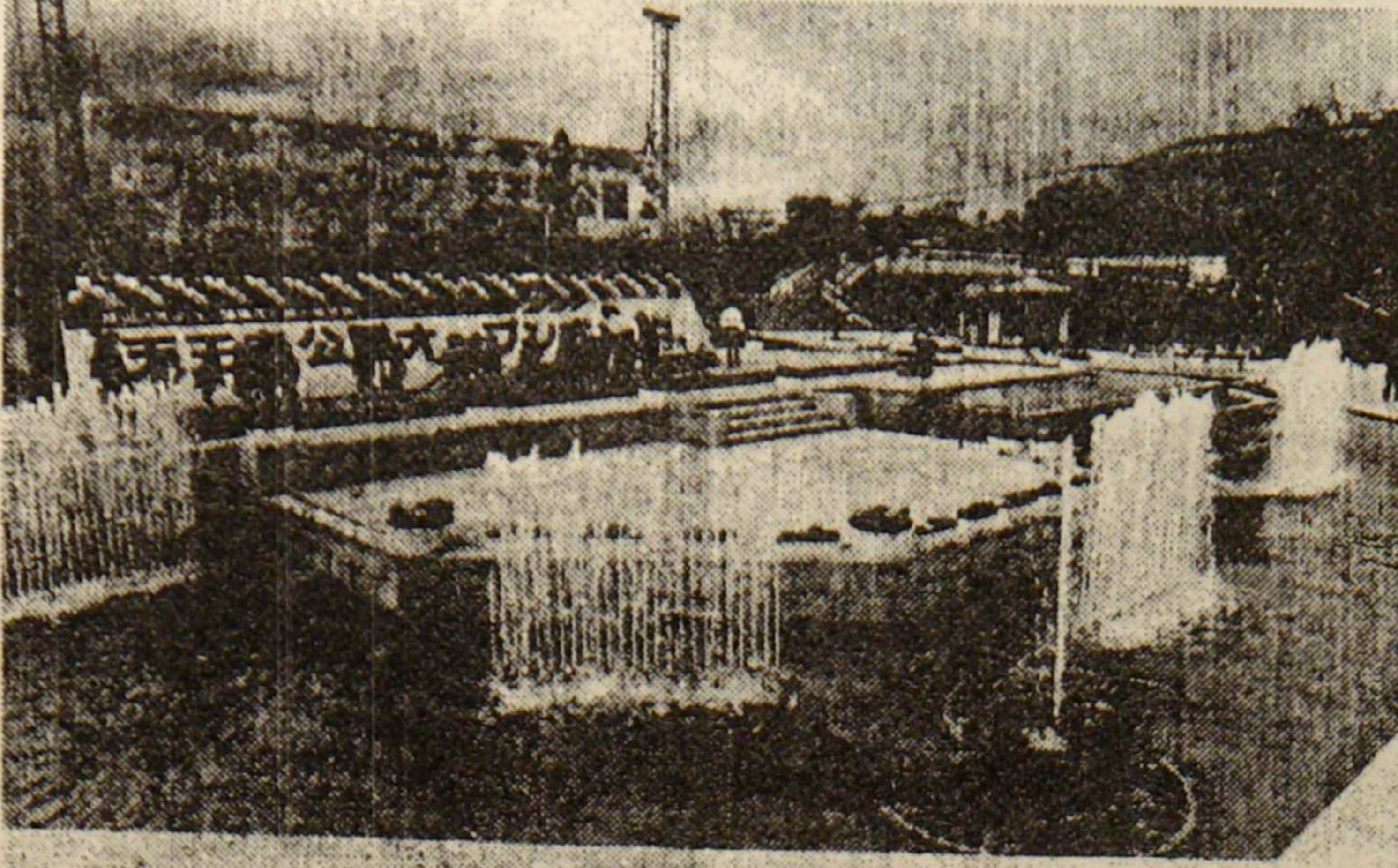
ニュースで、公明党の市会議員の一人が「公園は無料がいいのは判っているが、一部住所不定者で、こころえ者が、いるので、有料やむなし」ということになった。と言ったことを取りあげて、これは差別発言だと示唆し、詳しくは今週のニュース（ようするに、今、お説きのニュース）で書くつもりだが、どうも断教がないので、また、次号ということになる。

公明党市議は、通美エム店の飯場建設に反対する運動でも、我々を差別する言

# 「有料」天王寺公園オープン

## 賛否：不払い運動も

### 「ビラまき係員説得」



有料になった天王寺公園のオープン式典  
 24日午前10時50分、大阪市天王寺区茶臼山町で

三年前に開かれた天王寺博覧会の会場となった大阪市天王寺区の天王寺公園が二十四日、入場料百五十円の有料公園となって再オープンした。「公園の維持管理費をひねり出すため」という市側の説明に対し、市民団体は「住民の憩いの場が奪われる」「国際花と緑の博覧会(花の万博)会場の鶴見緑地は博覧会後、無料の公園になるのに……野宿労働者の締め出しを狙った措置だ」と反発。新設された入場門で反対のビラをまいたり、無料入園を求める不払い運動を繰り広げる。ただでさえ緑に乏しい大阪で、全国でも初めてという、都心の公園の有料化は賛否の論議を巻き起こしてスタートした。

天王寺公園は一九〇九年(明治四十二年)にできた施設で、もともと、だれでも自由に入ることができる場所だったが、八七年の天王寺博覧会をきっかけに市が園内の大がかりな整備にかかった。博覧会が閉幕した同年十一月以降、動物園や市立美術館などを除く区域をさくで囲い、「公園の維持管理費がかさむため」という理由で、昨年十一月、与党四会派の賛成で料金徴収を定める公園条例改正案を可決、有料化に踏み切った。

これに対して、近隣の商店は「公園を通り道にしては」

稚園児や町内会代表、市関係者ら約千人が見守る前で、広場の噴水が水を噴き上げ、三百羽のハトが空に放たれた。広場の横には、四季折々の花を咲かせる花壇や天王寺博のときのテーマ館を改造した植物温室、映像館などが設けられている。

式典に参列した新世界町会連合会の矢本博三会長(68)は、当初、有料化すれば新世界に客足が向かなくなる、と反対していたが、公園に隣接する旧市電車庫跡地の再開発計画が決まったこともあって、有料化やむなし、との判断に変わったという。「JR天王寺駅のターミナルと新世界との人の流れも、将来は良くなりそう。天王寺公園の改装を歓迎したい」と話す。

一方、「市民連絡会」のメンバー約五十人は、一般入場者に開放されるこの日午後、入場ゲート周辺で入園者らに有料化反対ビラを配るほか、思い思いに反対の理由を窓口の係員に告げて無料入場を試みる。

世話役の一人、鉄筋工松繁逸夫さんは「天王寺博の後、二年四月月も閉鎖されたあけく、突然有料化されるのは納得できない。入場門では冷静に無料で入場する理由を説明して通してもらおう。お金を取るなら、温室や映像館の入り口で取ればすむ」と話す。日本寄場学会の会員で、去年夏、野宿労働者たちの実態を「釜ヶ崎ストーリー」(ブレインセンター刊)として編集した和田研三さん(33)も反対行動に参加し、「これまでアベックと野宿労働者が共存してきた公園が、お金のあふれるための「私園」になる。関西新空港が開港すると外国人がたかさん来るから美しくしよう」との口実で、市が日雇い労働者を差別し、追い出している」と、大阪市の態度を批判した。

入場料は百五十円だが、十六歳未満の子どもや六十五歳以上のお年寄り、障害者は無料。一方、公園内にある天王寺動物園(四百円)や市立美術館(二百円)など、もともと有料の施設の料金は従来通りで、公園から動物園、美術館に入る場合は、差額を払うことになった。

この日、トラブルに備えて天王寺警員十人が出勤、入場門付近で警戒に当たる中、午前十時半から、公園南側の「水の広場」でオープン式典。地元の幼稚園児や町内会代表、市関係者ら約千人が見守る前で、広場の噴水が水を噴き上げ、三百羽のハトが空に放たれた。広場の横には、四季折々の花を咲かせる花壇や天王寺博のときのテーマ館を改造した植物温室、映像館などが設けられている。

式典に参列した新世界町会連合会の矢本博三会長(68)は、当初、有料化すれば新世界に客足が向かなくなる、と反対していたが、公園に隣接する旧市電車庫跡地の再開発計画が決まったこともあって、有料化やむなし、との判断に変わったという。「JR天王寺駅のターミナルと新世界との人の流れも、将来は良くなりそう。天王寺公園の改装を歓迎したい」と話す。

一方、「市民連絡会」のメンバー約五十人は、一般入場者に開放されるこの日午後、入場ゲート周辺で入園者らに有料化反対ビラを配るほか、思い思いに反対の理由を窓口の係員に告げて無料入場を試みる。

世話役の一人、鉄筋工松繁逸夫さんは「天王寺博の後、二年四月月も閉鎖されたあけく、突然有料化されるのは納得できない。入場門では冷静に無料で入場する理由を説明して通してもらおう。お金を取るなら、温室や映像館の入り口で取ればすむ」と話す。日本寄場学会の会員で、去年夏、野宿労働者たちの実態を「釜ヶ崎ストーリー」(ブレインセンター刊)として編集した和田研三さん(33)も反対行動に参加し、「これまでアベックと野宿労働者が共存してきた公園が、お金のあふれるための「私園」になる。関西新空港が開港すると外国人がたかさん来るから美しくしよう」との口実で、市が日雇い労働者を差別し、追い出している」と、大阪市の態度を批判した。

入場料は百五十円だが、十六歳未満の子どもや六十五歳以上のお年寄り、障害者は無料。一方、公園内にある天王寺動物園(四百円)や市立美術館(二百円)など、もともと有料の施設の料金は従来通りで、公園から動物園、美術館に入る場合は、差額を払うことになった。

の園の料化有  
 天王寺公園

### 反対市民と押し問答

「65歳以上無料」  
 公園側急ぎ張り紙



天王寺公園の有料化に反対して入り口前で抗議する市民(24日午後2時50分)

改修に伴って有料となり、二十四日にオープンした天王寺公園(天王寺区)で同日午後、有料化に反対する「天王寺公園有料を撤回させる市民連絡会」のメンバー約五十人が、公園東側の天王寺ゲート前で職員と一時押し問答になり、一部は料金を支わず入場した。

一般公開一時間後の同日午後、メンバーが「お年寄りが入場券を買おうとした。六十五歳以上は無料のはずだ」と入場券売場の職員に抗議。対応した職員は「六十五歳以上は無料」というのを、すでに市民は承知していると思っていた。今後とも明記する。反対

約十人と入場改札口で約十分間、押し問答になり、うち十二、三人がそのまま入場した。

公園入場料金は百五十円だが、十六歳未満と六十五歳以上、身体障害者は無料。公園側はこの抗議で急ぎ「六十五歳以上は無料です」という張り紙を売り場などに張り出した。

森下征太郎・市建設局管理課長は「六十五歳以上は無料」というのは、すでに市民は承知していると思っていた。今後とも明記する。反対

「市民連絡会」の世話役の松繁逸夫さんは「撤回するまで運動を続けたい」と話している。今日の行動は、私たち千五百八十六人の意見の集まりだ。